



エネルギー
分野

系統待機型オフグリッド蓄電システム技術開発

日常的に系統連携と自家消費の切り替え可能な、低価格な系統待機型オフグリッド蓄電システム技術を開発する

現状 背景

- 東日本大震災から8年経過した今でも原子力発電に対する国内世論は厳しく、世界的にも地球温暖化防止に向けた**再生可能エネルギー導入への期待は大きい**
- 2018年9月の北海道地震において北海道電力管内でブラックアウトが起き、**非常時に備えた自家発電、自家消費に企業や家庭がこれまで以上に関心を寄せている**

開発 目標

- 蓄電量によってオフ・オングリッドへの切り替えを行う自動切り替え器や蓄電量をリアルタイムで監視する制御システム等を開発し、系統待機型オフグリッド蓄電システムを実現する**

先進性

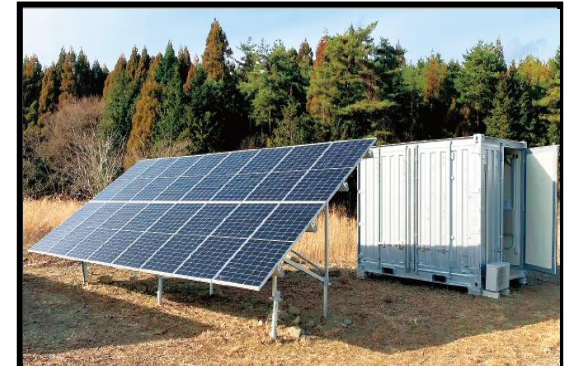
- 太陽光だけでなく、蓄電池・LPガス発電機を用い、24時間7日間の**電力供給が可能である**
- インバータを複数つなぐことができ、**幅広いニーズに応えた蓄電池システムを構築することができる**

事業化 目標

- 2020年度より販売を開始。BCP対策としてニーズがある、地方自治体、生産工場等への販売を行っていく

事業者 概要

《事業者名》株式会社エコロミ 《事業内容》太陽光発電設備等、再エネ設備の導入、保守管理から再エネ事業の開発・コンサルティングを行う
 《創業》2012年7月 《住所》福島県双葉郡富岡町大字上手岡字高津戸348 《HP》<http://www.ecolomy.co.jp/#>
 《問合せ先》03-5244-5537



蓄電システム外観



自動切り替え機を含めた単相用システム